



### 中小商工業全国交流・研究集会

#### 都立産業技術高専

ものづくり工学科・吉田喜一

東京都は昨年から都立高専の設備、ノウハウを活用したフリーター、ニートの方を対象とした講座を開始しました。土・日とウィークデイの夜に都立高専に来て頂き、各種の講座でものづくりを体験して頂き、自分の能力の再発見を通じて就業のお手伝いをしようというものです。1講座5000円です。

都立産技高専・荒川校舎（旧都立航空高専）では、後期（10月から12月まで44時間）に以下の講座が始まります。  
①カラーリングナット及びミニジャッキの製作、②5インチゲージ大型鉄道模型の製作もしくはミニバイクの製作、③木工によるヨットの製作、④溶接による植木棚づくり、⑤仕事に役立つパソコン入門、⑥ミニサーバーの構築、⑦オーデオアンプの製作、⑧子ども用遊具の開発、⑨無線LAN入門です。  
詳しい日程は本校のHPをご覧ください

さい。ご都合があるでしょうから講師の先生と相談されて、全部の日程に参加しなくても結構です。なお、⑧の講座は私自身が受け持ちます。今、『子どものしあわせ』（草土文化社）という雑誌で『親子でつくって遊ぼう』という連載を仲間と行っていきます。最初はこの連載で紹介した遊具を作ってもいい、後はオリジナルの遊び道具を開発しようというものです。毎回違う遊び道具をつくりまします。

このミニコミが発行されるときは『要綱』上の締め切り（9月14日）は過ぎていますが大丈夫です。至急本校事務室あるいは私にご連絡頂ければ幸いです。

なおフリーター対象講座ではありませんが、中小企業の人材育成講座もほぼ同時期に開催されます。講座は約30時間です。『小型2足歩行ロボットの製作技術』、『ネットワークプランニングの構築』を本校で開講します。こちらは経産省が費用を出してくれる無料講座です。詳しい内容はこれもHPをご覧ください。初心者大歓迎です。

電話（3801）0145  
FAX（3801）9898  
EMAIL kyoshida@kouku-k.ac.jp

★「光源氏一夜」甲斐京子ショー（BXホール）（10月4〜8日）6500円↓2000円に特別割引致します。先着10名様まで



### 覚えておきたいメガネ選び（前編）

今回・次回はメガネの話題として、選ぶ際のポイントを取り上げます。まず、今回は「フレーム（枠）選び」についてお話しします。

メガネは「視力補正の器具」という役割の他に、最近では「おしゃれの小道具」としても注目されています。異業種（アパレル、セレクトショップなど）発の、斬新な低価格メガネ店も人気を集めています。

それでは、フレームを選ぶ際には、どのような点に注意すれば良いでしょうか？お店の人に聞く前に、覚えておくといけないことをまとめました。

①色、形：基本的には、かける方の好みで選ぶものですが、あまり奇抜なものだと職場や冠婚葬祭の席で浮いてしまう恐れもあります。視力補正が目的の場合、極端にレンズの小さいフレームは、視野が狭くなる恐れがあるので注意が必要です。  
②サイズ、かけごこち：服や靴と同じく、フレームにも「サイズ」があ

ります。レンズの直径、ツルの長さなど、ミリ単位でフレームに記載されています。時々、こめかみのあたりが窮屈なメガネをかけている方を見ますが、これはサイズが小さすぎるのです。頭が痛くなったり、フレームが変形したりと、ロクなことはありません。フレーム選びは、必ずいくつか試して比較しましょう。

③材質、原産国：フレームの材質は、金属とプラスチックに大別できます。金属ではニッケル合金、NT合金、チタン、18金などがあります。NT合金製は衝撃・変形に強いので、お子様・学生さんに最適です。チタン製はニッケル合金と異なり、金属アレルギーを起こしません。また、軽量でサビないことも長所です。なお、今秋から、メガネの原産国表示制度がスタートしました。国産品と輸入品をじっくり比べてみるのも面白いでしょう。

【消費生活アドバイザー

佐藤 祐一郎】

◆メガネのサトウ◆  
南千住5丁目43の13 コツ通り  
TEL 03（3806）4930

★営業時間のご案内★

平日・土曜：AM 10時〜PM 7時30分  
日曜・祝日：AM 11時〜PM 6時30分  
◎9月24日、10月6、10、20日は休業日でございます。

